

未来デザインワークショップ 成果報告書

【 門田地区 】

令和2年11月26日（木） 公共施設管理課

※この資料は市HPにも公開しています。

令和元年度「未来デザインワークショップ」開催結果

テーマ：地域と施設の未来をデザインしよう

1. 目的

「公共施設再編プラン」の基本的な考えとなる地区ごとの「将来の理想の地域像」とその実現に向け必要な「活動」及び「活動拠点としての公共施設の活用のあり方（方向性）」についてワークショップを通して、地域ごと、世代ごとに市民の皆様の考えをお聞きし、「公共施設再編プラン」の策定につなげていく。

2. 対象者

中学生以上の市民（市内に通勤・通学している人を含む）

3. 内容

- (1) 地域の課題、資源の洗い出し・整理
 - ・地域の課題、資源を考える。
- (2) 将来の理想の地域の姿（地域課題解決後の姿）の可視化
 - ・地域の良い未来とよくない未来を考える。
 - ・地域の良い未来にするためのアイデアを考える。
- (3) 理想の地域像の実現に必要な活動と地域の拠点（憩いの場）としての公共施設の活用案の提案。
 - ・理想の地域像の実現に向け地域、行政、民間ができることを考える。

※ワークショップ（2～3回）は共通の内容のため、複数地区を合同で開催し、全市的な取組としての一体感や地域間の住民同士の交流等を促進。

※前橋工科大学、コード・フォー・ジャパン、市民ファシリテーターの支援を受ける。

※平成30年度には、同様の内容を北会津・河東・湊地区において実施。

4. 周知方法

- (1) 各種広報媒体 ホームページ・フェイスブック、マスコミ等
- (2) 郵送等 公民館を通じた各町内会への周知、区長、地域づくり組織（北会津・河東・湊・永和）、小中学校、PTA 市内保育施設、県立葵高等学校（葵ゼミ）、会津若松商工会議所、福島県建築士会会津支部、市政モニター等
- (3) チラシ配置 公民館やコミュニティセンターなどの公共施設等

5. 令和元年度の取組

(1) WS等の開催概要

回	月 日	内容	場 所	参加者数	市民ファシリテーター
1	10月17日(木)	まちづくりセミナー	第二中学校	41名	6名
2	11月23日(土)	北エリア第1回	北公民館	11名	3名
3	11月24日(日)	南エリア第1回	南公民館	20名	3名
4	12月14日(土)	北エリア第2回	一箕公民館	11名	2名
5	12月15日(日)	南エリア第2回	南公民館	17名	4名
6	1月11日(土)	中央・東エリア第1回	生涯学習総合センター	31名	2名
7	1月25日(土)	中央・東エリア第2回	〃	26名	4名
8	2月9日(日)	中央・東エリア第3回	〃	24名	5名
合 計				181名	29名

※参考（北会津・河東・湊地区）

回	月 日	内容	場 所	参加者数	市民ファシリテーター
1	11月16日(土)	河東地区第1回	河東支所	15名	3名
2	12月21日(土)	北会津地区第1回	北会津支所	11名	2名
3	11月24日(日)	河東地区第2回	河東支所	16名	3名
4	2月5日(水)	湊地区第1回	湊公民館	36名	-
合 計				78名	8名

(2) 北エリア、南エリア、中央・東エリア

取組	場所・参加者数	主な内容
※参考 まちづくり セミナー	～考えよう公共施設のアカ イミライ～ (10月17日) @第二中学校 はだしの広場 参加者合計 41名 (WS：6グループ)	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の取組の説明（市長） ●講演「住民協働で進める公共施設マネジメント」 講師：前橋工科大学 堤洋樹 准教授 ●先進事例 「施設活用の先進事例（北会津・河東・湊）」 発表：みんなと湊まちづくりネットワーク 鈴木 隆良 事務局長 ●意見交換 「みんなで考える公共施設の明るい未来」 まちや公共施設について、何もしない場合の未来、 施設を利活用するアイデアについて考える。 ※協力：コードフォージャパン 市民ファシリテーター6名

取組	場所・参加者数	主な内容
北エリア (永和・神指・一箕・松長小学校区)	第1回(11月23日) @北公民館 参加者合計 11名 (WS:2グループ)	●本市の取組の説明 ●10/17まちづくりセミナーの振り返り ●地域の課題、資源を考える。 ●地域の良い未来とよくない未来を考える。 ※協力:コードフォージャパン 市民ファシリテーター3名
	第2回(12月14日) @一箕公民館 参加者合計 11名 (WS:2グループ)	●地域の良い未来にするためのアイデアを考える。 ●理想の地域像の実現に向け地域、行政、民間ができることを考える。 ※協力:コードフォージャパン 市民ファシリテーター2名

取組	場所・参加者数	主な内容
南エリア (門田・小金井・城南・大戸小学校区)	第1回(11月24日) @南公民館 参加者合計 20名 (WS:3グループ)	●本市の取組の説明 ●10/17まちづくりセミナーの振り返り ●地域の課題、資源を考える。 ●地域の良い未来とよくない未来を考える。 ※協力:コードフォージャパン 市民ファシリテーター3名
	第2回(12月15日) @南公民館 参加者合計 17名 (WS:3グループ)	●地域の良い未来にするためのアイデアを考える。 ●理想の地域像の実現に向け地域、行政、民間ができることを考える。 ※協力:コードフォージャパン 長岡造形大学 市民ファシリテーター4名

取組	場所・参加者数	主な内容
中央・東エリア (鶴城・謹教・城北・日新・城西・東山小学校区)	第1回(1月11日) @生涯学習総合センター 参加者合計 31名 (WS:6グループ)	●本市の取組の説明 ●10/17まちづくりセミナーの振り返り ●地域の課題、資源を考える。 ※協力:前橋工科大学 コードフォージャパン 市民ファシリテーター2名
	第2回(1月25日) @生涯学習総合センター	●地域の良い未来とよくない未来を考える。 ●地域の良い未来にするためのアイデアを考え

取組	場所・参加者数	主な内容
	参加者合計 26名 (WS : 6グループ)	る。 ※協力：前橋工科大学 コードフォージャパン 長岡造形大学 市民ファシリテーター4名
	第3回(2月9日) @生涯学習総合センター 参加者合計 24名 (WS : 6グループ)	●理想の地域像の実現に向け地域、行政、民間ができることを考える。 ※協力：前橋工科大学 コードフォージャパン 長岡造形大学 市民ファシリテーター5名

(3) 北会津・河東・湊地区 ※参考

取組	場所・参加者数	主な内容
北会津地区	第1回(12月21日) @北会津支所 ピカリンホール 参加者合計 11名 (WS : 2グループ)	●施設の活用案を考える。 ●活用案の実現に向け、地域、行政、民間ができることを考える。 ※主催：北会津地域づくり委員会 ※協力：市民ファシリテーター2名
河東地区 (河東地域 公共施設 の未来を 考える会)	第1回(11月16日) @河東支所 大会議室 参加者合計 15名 (WS : 3グループ)	●公共施設の現状と課題の共有。 ●公共施設の見学(河東支所、河東公民館、河東学園センター、河東農村環境改善センター) ●施設の課題や改善点、活用アイデアを考える。 ※主催：河東地域づくり委員会 ※協力：市民ファシリテーター3名
	第2回(12月21日) @河東支所 大会議室 参加者合計 16名 (WS : 3グループ)	●施設の活用案を考える。 ●活用案の実現に向け、地域、行政、民間ができることを考える。 ※主催：河東地域づくり委員会 ※協力：市民ファシリテーター3名
湊地区	第1回(2月5日) @湊公民館 参加者合計 36名 (WS : 6グループ)	●施設の活用案を考える。 ●活用案の実現に向け、地域、行政、民間ができることを考える。 ※主催：みんなと湊まちづくりネットワーク

6. 成果

ワークショップにおいては、公共施設の利活用はもとより、地域の資源や資産を活用するアイデアや、商店街や空き家など身近にある空きスペースや建物などを活用し、子どもの遊び場やコミュニティ活動の場所、さらには、地域の活性化やまちづくりにつなげていくアイデアが多く出ていた。



- ① 住民自らが、将来の地域のあり方や理想の地域を実現するためのアイデアなどを考えることにより、これまでの施設を利用する立場から、行政とともに地域にある施設のあり方や活用を考えるという当事者としての意識の醸成、さらには、公共施設の再編に向けての理解の増進につなげることができた。
- ② 複数地区を合同で開催したため、各地区に共通する課題の把握や地域の特色・特性を比較することができ、地域の資源や施設、さらには地域の将来像について考えを深めることができた。

7. 課題

(1) 若い世代からの意見聴取

ワークショップでは、40代以下の子育て世代、学生など若い世代の参加が少なかったため、今後、成果報告会などの機会を通して、若い世代のアイデア・意見を収集していく。
⇒住民基本台帳データからの無作為抽出や学校、企業、団体（青年会、サークルなど）に協力を仰ぐなど、より有効な手法を検討する。

(2) 「公共施設再編プラン」へのアイデア・意見の反映

ワークショップで出された様々な公共施設の利活用のアイデアや意見などの成果をどのように「公共施設再編プラン」へ反映させ、各施設の今後の利活用や再編などにつなげていくのか整理・検討が必要。

8. 今後の取組

(1) 成果報告会の実施

令和元年度に実施した地区別ワークショップで出されたアイデアなどを共有する成果報告会を令和2年5月9日に開催する。

(2) 公共施設再編プランの策定

地区別ワークショップで出されたアイデアなどを踏まえ、令和2年度中の策定に向けて取組を進める

(3) 公共施設の利活用を進める。(アイデアの実践を進める)

地区別ワークショップで出された公共施設の利活用のアイデアの実現に向け、可能なものから取組を進める。(北会津支所の3F会議室、河東学園センターの利活用など)

	人、コミュニティ	企業・産業	土地・施設・モノ(無形を含む)	お金	情報	その他
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・飯寺地区の行政区分がはっきりしない。 ・飯寺地区は大きいので分けてほしい。 ・地縁団体を支える方々の高齢化。 ・自営業者が少ないので消防団etc成り立たない。 ・アパート入居者が町内会に入らない。 ・子供が少ない。 ・公共への協力が低い。 ・アパートの人が参加できてない傾向。 ・地区運動会にこども・老人が参加していない。 ・3つの小学校があるが、子育て世代の交流が少ない。 ・子供と大人、交流行事多く、子供会增加。 ・適切な人がいるが、協力してくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の出来る企業がほしい。 ・若い人が働きたい企業の誘致。 ・減少する小売店、電子マネー決済等に対応できる。 ・森林は多いが、整備がなかなか進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題:1、町内集会所を作っていきいたい。 課題:2、川の流水の管理を適切にしたい。 ・就学児の帰宅後、集まって遊ぶ場所が欲しい。 ・町内の集会所の充実(使いにくい)。老人会話の出来る空室・空家等のアピール使用可能。 ・高齢者でも容易に行ける施設があるとよい(介護ではない)。 ・飯寺地区にコミュニティセンターが欲しい。 ・一人暮らしの老人が施設に入って空家になる。 ・歳の神は減って(都市化が進み農地が減っている)。 ・空地が少なくなってきたので、雪の捨て場がない。 ・温泉の場所増やしてほしい(近くに)、健康維持の為。 ・南若松駅を使っている人はどれだけいらっしゃるのでしょうか。 ・西若松駅でヒップホップをおどる青少年…活動表現の場がない。 ・希望の保育園に入れたい、兄弟で別々の園に通っている。 ・門田地区は面積が広いので、近辺の地区は公共施設が利用しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給料安い、働く場所ない。 ・高校生のバイト先がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、アンテナ店などが無い。 2、話し合う場所がない。 ・中年向け情報少ない…かな? 災害発生時の確・迅速な連絡方法。 ・もう少しデジタルサイネージがあちこちにあるといい。 ・災害通知があったが、私の町内会では避難者がいなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシが増えてきた。 ・公共のバスの便が悪い。 ・巡回バスの増便する、免許返上する人年々多く。 ・交通手段、バスの本数が少ない。
地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・子供会による廃品回収をしている。 ・老人会があるのでよい。 ・ボランティアガイドの説明が聞ける、お城・御薬園など。 ・地域団体の活動が活発でまとまりがある。 ・正月に神社で参拝者にふるまい酒(おみき)やっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業(みしらず柿)。 ・門田町工業団地。 ・除雪をたくさん売っている店がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区毎のおまつりが多い、子供の参加も多い。 ・古いお寺さんなどが多い、小田山がある。 ・各地区で地域行事が継承されている。 ・こどもの森、アウトドア活動ができる。 ・オリンパス・ヨーク・アピタがあるので良い。 ・スーパーリオンドール・ヨークベニマル・マツキヨ。 ・むらい・しおえがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯寺地区は大きいので町内会費が安い。 ・おまつりのとき、全世帯から寄付金だしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバンクがある。 ・ゲオやツタヤがある。 ・長年やってる肉屋さんがある。 ・メジカルタウンがある(医者がいがいとOK)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興住宅が2ヶ所ある(でもあいているところある、あとの活用は?)。 ・国道が広がった。空家少ない(と思われる)。

	人、コミュニティ	企業・産業	土地・施設・モノ(無形を含む)	お金	情報	その他
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・飯寺地区にコミュニティ施設がない。 ・昔からある地区は高齢化率が高まっている。 ・アパートが増え、町内活動に出る人が限定される。 ・子供会入会せず。 ・子どもと大人の関わる機会が少ない。 ・新しい住宅が増え、コミュニティ不足。 ・町内会の行事が無くなった。 ・町内行事に参加人が仕事の都合で少ない。 ・高齢化。 ・地域のお祭りが無くなった。 ・一人暮らし、二人暮らしが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・居酒屋がない。 ・人気店があるがうるさい(車・人の声)。 ・子供のサラリー安い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡(史跡)、遠足の場所小田山・青木山利用少ない。 ・集会所がある町内が半分程度。 ・福祉施設がない。 ・災害の避難所(福祉)がない。 ・幼児の遊び場少ない、小川なし。 ・バスの本数少ない。 ・高校生が利用でいきる施設がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区費協力しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報連絡にメールやプラットフォームがいかされていない。 ・スマホで道路の損傷を市に情報を伝達するシステムがない。 ・イノシシ被害多い。 ・災害時の小河川(古川)の河川(水位)情報がわからない。 ・回覧板が途中で止まってしまう。 ・子供の見守り、朝の登校に地域の人が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪のボランティアが少ない(いない地域が多い)。 ・ゴミのポイ捨て。 ・野良猫いっぱい。 ・地区間の公的移動交通手段がない。 ・高校生の送迎で道路が混雑。
地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が3つある。 ・門田地区は広く人口も多い。 ・75才以上の方に紅白まんじゅう。 ・長寿会を立ちあげた。 ・小・中学校生徒が多い(交流)。 ・自然に恵まれている(山・川・等)。 ・なよたけ祭、歳の神。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御山の柿。 ・買い物しやすい(お店がたくさんある)。 ・人気の飲食店がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・善龍寺がある。 ・夏休み行事、きもだめし、盆踊り。 ・アンプ放送があるところ。 ・自然災害が少ない。 ・コミセンがあり、祭等もしている。 ・総合体育館施設がある、公園も含め。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福銀・東邦・信金がある(バイクでまわってくれてお金引き落とし可)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月2~3回、その都度回覧をまわす町内がある。 ・防災を学ぶ自然(古川・湯川・阿賀野川)が身近にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等の実行体制がこの団体ある。 ・見しらずの柿野」特産品がある。 ・地区のお祭りが引き継がれている。

よくない未来	要素	良い未来
<ul style="list-style-type: none"> ・企業・工場が減り、人口も減る。 ・若者が減り工業団地の企業が撤退。 ・農業後継者が少ない。農業が減少する。 ・みしらず柿の担い手が減り、消滅。 	仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した大企業を誘致でき、若い人が増える。 ・みしらず柿の担い手が増え、ますます会津が有名に。 ・農業の企業化。 ・自衛隊をよぶ。 ・高卒でも働ける企業がある。 ・元気で働き続ける(何でも良い)高齢者が増えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが減り、学校に元気がなくなる。 ・子供が減り、小学校が統合される。 ・PCの使い過ぎ、文章の手書きができない。 	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐ保育園に入れる。 ・地域・自然を活用。
	サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットでの買い物が益々増える。
<ul style="list-style-type: none"> ・弱った高齢者が激増。 ・1人暮らしの方の通院が困る(いけない)。 ・病院での待ち時間が長くなる。 	健康	
	災害	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区の子ども会がなくなっている。 ・地域活動に若い人がおらず、衰退する。 ・空き家が増えすぎて、町内環境が悪化している。 	コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高生もいっしょに地域活動ができる。 ・地区のあちこちで子どもと高齢者の交流が増える。

門田地区

地域に必要な活動とその拠点としての
公共施設を利活用するアイデアを考えよう!!

よくない未来 (Sad face)

仕事

- 企業、工場が減り入り口が減る
- 農地が撤退
- 農業が減少する
- みんず神の担い手が減り、消滅

教育

- 子どもが減り、学校に元気がなくなる
- 学校が廃校になる
- PCの使い過ぎ、文章の手書きが減る

健康

- 弱体化高齢者が激増
- 人ごしの病院が閉鎖(114施設)
- 病院での待ち時間が長くなる

コミュニティ

- 地区の子ども会がなくなっている
- 空き家が増えすぎ、町内環境が悪化している
- 地域活動に若人が参加できなくなる

高齢化

高齢化 高齢者の増加...

体育施設

公園 買い物

まちを元気に

良い未来 (Happy face)

仕事

- 安定した大企業を誘致でき若人が増える
- みんず神の担い手が増え、みんず神会津が賑わう
- 農業の企業化
- 自衛隊をよぶ
- 高卒で働く企業が増える

教育

- 元気で働ける若者が高卒者が増えている
- おもしろい、地域を自然と活用
- 保存区にする

サービス

- ネットでの買い物が増える

災害

- 地区のあちこちで子どもと高齢者の交流が増える

コミュニティ

- 小中高生と高齢者が地域活動ができる

各地区で取り組みの方向をよい

20年後の未来

■南エリア(第2回)_理想の地域の姿を実現するためのアイデア 門田地区別WS(12月15日)Bグループ

テーマ	地域を愛する地域のファンを増やそう！(すきまをネットワークでうめよう)
-----	-------------------------------------

アイデア		アイデアの実現に向けた取組等
1	子どもに農体験を(子どもも大人も一緒に活動する地域に！)	<ul style="list-style-type: none"> ・柿農家さんとさわし柿・干し柿をつくってみよう！(みそづくり・もちづくりも) ・食をメインに農家さんでみそづくり・干し柿づくりなど ・みしらず柿:住民はチラシ作成回覧板をまわす。コミュニティ(町内会・区長会)はイベントの運営・企画。柿農家の組合が場所・材料を提供。公共(行政)は施設の利用の幅を広げる。
2	空き教室の活用(小学校が3つも！)	<ul style="list-style-type: none"> ①〇〇(ビンゴ・ゲーム・きもだめしなど)大会を増やす。 ・公共(行政)は空き教室の利用許可を検討。 ②昔の遊び(たけうま・竹とんぼ・わらべうたなど)の伝承。 ・住民は子どもの見守り隊をボランティアで、地域の高齢者が伝承遊びを教える。コミュニティで情報共有をSNSで。イベントの運営企画。企業は協賛に入ってもらおう。
3	空き家の活用	<ul style="list-style-type: none"> ①さら地のままに、税金を安く、地域の有志で草刈り。 ・住民は積極的に応募したり、サポートする(企業へ)。空き家になる前に活用方法を地域で考える。更地の固定資産税6倍の制度見直し。市役所に相談する空き家。 ②人(会津が好きな人)に住んでもらう。 ・企業に会津が好きな人へ空き家の存在をPR ③子どもの交流の場に、リタイアした先生をまきこむ。 ・子ども食堂・宿題カフェ(プログラミング・外国語)。 地元のサポート(元教員の方・お世話好きな方)→コミュニティでサポート

2019.12.15

南川町第2回 門田地区

@南公民館

未来デザインワークショップ

～地域と施設の
未来デザイン～

目的：地域に必要な活動とその拠点としての
公共施設を利用可能なアイデアを考えよう！！
(活)

子どもたちと一緒に活動可能な地域に！

子どもに

食をメインに
農畜と関わり
体験を
種農家さんと
一緒に柿、干し柿を
つくってほしい！

柿農家の
組合の
場所、材料を
提供
施設の
利用の幅を
広げる。

空き教室の活用

小学校が3つも！

① 〇〇大会増やす

公共(行政)は...
空き教室の
利用許可を
与える。

② 昔の遊びの伝承を

× 1-100まで、4人組
からバウンディング

住民は...
子どもの
見守り隊を
ボランティア
で
地域の
高齢者が
参加遊ばせ
てあげる。

情報
共有を
SNSで
イベントの
運営
企画



空き家の活用

① 空き地の活用

更地の固定資産税6倍の
制度見直し

税金安く...
地域の有為で草刈り

市役所に
相談する
空家

② 人に住んでもらう
会津の好む家

企業に
会津が
好きな人へ
空き家の存在
をPR

③ 子どもの交流の場を
1997年先生を招いて

子ども食堂
宿題カフェ
(日中開館、
外国語)

自らのサポート
を教員の方
と連携して



地域を愛する
地域の力を
増やそう！



企業に
協賛に
入ってもらう



■南エリア(第2回)_理想の地域の姿を実現するためのアイデア 門田地区別WS(12月15日)Cグループ

テーマ	地域と活動を衰退させないために!!
-----	-------------------

アイデア		アイデアの実現に向けた取組等
1	町内を支えるコーディネーター+or兼リーダーを育成!!	<ul style="list-style-type: none"> ・今の世代の、町内活動に熱心な親を育成!!ゆくゆくは高齢者と子どもをつなぐコーディネーターに! ①祭りを親に運営してもらおう!! ・アイデアを出す。ノウハウをお母さんたち(親)に伝える。出店協賛。地域のコーディネーターをつれてきて。町内会は予算ごと親に! ②学生×親=新しいアイデアの祭りへ!!大学生と親をつなぐイベント(パソコン教室)。 ・会津大学生と協力したら今風の新しい祭りへ!親世代にも魅力的な町内活動へ!
2	産業と地域で人口を増やす!!	<ul style="list-style-type: none"> ①企業を育てる! ・コミュニティ:新開発する(アイデア) ・企業・コミュニティ:地場産業のアイデアを出す。 ・公共:地場産業のリーダーを育てる、小学校から専門分野を養成していく。新しいアイデアで地域産業をつくりたい!門田ブランドNEW。小中高大→リーダーへ育成する! ②地域が見守る社会へ。 ・コミュニティ:地域社会が支援する(近所どうしで見守る・声かけ)、近くに人口の多い施設(複合)、保・幼・学(無料)・大人の交流。 ・公共:子どもに対するイベントがある、複合施設と移動手段(バス)をつくる。移動バスもあれば。隣の家の子を知っている!子育てのもっとしやすい社会へ!
3	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・予想活用施設=公民館・神社・寺 ・資源=祭り+町内会 ・予想活用資源=門田独自の技術

門田地区

目的: 地域に必要な活動とその実現としての
公共施設を利活用するアイデアを考へよう!

と 方針: 地域活動を表現させないために!!

柱①

町内を支援する
コトづくりを
育成!!

神社・寺
公民館
資源: 祭り
町内会 門田独自の
技術

柱②

産業と地域の
人口を増やす!!

町内活動
熱心な親を
育成!! (町内会は
高齢者ほどと親
つながり)

① 企業を育てる!!

- 企業-222
● 新規発
する
(アイデア)
- 企業-222
● 地場産業の
アイデアを
出す ●

- 公共
● 地場産業の
リーダーを
育てる ●

小学校の
車内分科を
養成し置く

町内会は
予算を
親に

① 祭り
親の運営
もつた!!

町内会
出す

町内会
の母エタ
イミ

出店
共賛

地域
づくり

② 地域が
見守る社会

- 地域-222
● 地域-社会
が
支援する
(近所での
声かけ)

公共
● 子どもに
対する
イベント
がある

小学校の
車内分科を
養成し置く

子育ての
魅力が
社会へ!

金沢
大学生
と
協力
して
新しい
祭りへ!

大学生と
親見せ
イベント
イベント
開催

今の親世代は
無料の
町内活動!



おめ: 竹内葉留子